

泥んこ気持ちいい

鯖江・片上

春たんぼ遊びとことん

第二十二回鯖江かたかみ春たんぼ2009は二十九日、鯖江市の片上公民館周辺で開かれた。好天の下、恒例の文殊山登山や、さまざまな手づくりのイベントが繰り広げられ、終日にぎわった。

泥んこになりながら田んぼの中でバレーを楽しむ参加者=29日、鯖江市片上地区



バレー、田植え 子供ら終日歓声

午前八時半から開会式が行われ、同実行委の川上広志委員長のあいさつに続き、関係者や来賓らがテープカット。広場で東陽中吹奏楽部の演奏、文殊太鼓などが次々と披露された。
うまいもん広場と名付けられた模擬店には、たけのこずし、文殊菩薩まんじゅうなどたくさんの特産品が並んだ。ジャンボ巻きすしづくりや歌謡ショーも実施。イメージキャラクター「もんだ」の着ぐるみも初めて登場し、会場で愛嬌を振りまいた。
近くの田んぼでは、体験田植えや魚つかみなどが行われた。「泥んこゲ

「私だけの絵本」作ろう

武生東高美術部 子どもにも指導



自由に絵を描いて絵本を作る児童ら=29日、越前市中央図書館

ーム」と題したバレーで熱戦を展開した。文殊山登山は午前九時から始まり、四つのコーから始まり、四つのコーから標高三六五呎の青年団のチームらが全身、泥だらけになりながら大文殊などを目指した。
頂上付近では鯖江、福井両市のほか、越前海岸の海まで眺望でき、参加者は自然を満喫していた。

越前市の武生東高美術部は二十九日、同市中央図書館で子どもを対象にした絵本作りのワークショップを開いた。参加した児童らは、同部員に教わりながら花や動物を描いたかわいらしい絵本を完成させ、大喜びだった。

ワークショップは午前、午後二回開かれた。午前には市内の幼児・児童と保護者の計三十五人が参加し、同部員十人が指導に当たった。まず子どもらは縦四分の一、横九分の画用紙を半分に折り、四枚重ねにして本の形に整えた。続

ふるさとニユース

ホームページ
動画ニユース
www.furusatonyuuso.jp